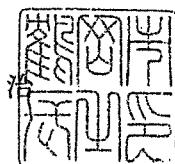


令和2年6月2日

鶴岡市議会議長 本間 新兵衛 様

鶴岡市議会議会運営委員長 尾形 昌彦 様

鶴岡市長 皆川



### ご依頼事項への回答について

令和2年4月28日付、「市長からの回答について（依頼）」について、下記のとおり回答申し上げます。

#### 記

1. 全天候型の児童遊戯施設の施設整備計画等について、渋谷耕一議員の議長在任期間（平成25年11月5日から平成27年11月9日まで）において、別添の3件（①平成26年12月8日、②平成27年3月3日、③平成27年3月6日）の中で質問、答弁が行われている。

※なお、詳細は添付のとおりであるが、①平成26年12月8日においては、佐藤博幸議員がサイエンスパーク構想に関連し、「本年8月6日に設立されました開発を手がける不動産運営会社、YAMAGATA DESIGN株式会社の今後の開発計画の展開に対するまちづくり、そして都市計画の視点から、今後の市の基本方針」について質問を行っている。

これに対し、当時の石塚治人総務部長より、「このたび、未開発の14ヘクタールについて、スパイバー社関連のYAMAGATA DESIGN社が開発事業を進めるということになります。」とした上で、「同社の現段階における整備計画でございますが、その目的を世界的研究開発拠点の建設としまして、工場、研究開発施設、関連事業施設、短期や中・長期の滞在施設、託児所などの支援施設等を整備し、世界をリードするこれまでにない革新性を備える先端的産業開発エリアとするというものでございます。その開発スケジュールとしては、来年秋ごろまでに用地取得を完了し、その後、用地造成、施設建設を進めまして、平成27年中に地区の供用開始ができるよう進めたいとしております。」と回答している。

また、③平成27年3月6日においては、小野寺佳克議員が、サイエンスパーク整備に関連し、「サイエンスパークの整備は、昨年、21ヘクタールのうちの未整備に当たる14ヘクタールをYAMAGATA DESIGN社に委ねました。」と発言した上で、「YAMAGATA DESIGN社が進めるまちづくりの内容、開発計画」等について質問を行っている。

これに対し、当時の三浦総一郎企画部長より、「現段階での同社による整備計画の内容でござりますが、その目的を世界的研究開発拠点の建設としておりまして、工場、研究開発施設、関連事業施設、短期及び中・長期の滞在施設、託児所などの支援施設等を整備し、世界をリードするこれまでにない革新性を備える先端的産業開発エリアにするものとしております。そのイメージでございますが、まずエリア全体の建築デザインについては、プリツカー賞を受賞した坂茂氏が担当し、自然との共生や未来への革新性などを理念として、木造を基本とする建築群を整備する方向と聞いております。その上で、全体を産業、交流、子育ての大きく3つのエリアに位置づけまして、産業エリアではスパイバー社や関連企業が入る予定の大型施設を整備するとともに、交流エリアでは、このエリアに集積すると見込まれる多くの企業関係者や研究開発者のための短期及び中・長期の滞在・居住や交流のための施設を整備するとしております。さらに、子育てエリアでは、海外からの移住者の指定教育にも対応するため、インターナショナル教育の要素も加味しつつ、地域の子供も一緒になった人間力教育を理念とした学童保育施設の設置を想定していると伺っております。」と回答している。また、「本年秋の稻刈り後をめどに用地取得を完了し、用地造成、基盤整備工事を開始する計画であります。その後、施設建設に入りまして、平成29年中に地区の供用開始ができるよう進めたいとしております。」と回答している。

2. 全天候型の児童遊戯施設の施設整備計画等について、渋谷耕一議員の議長在任期間（平成25年11月5日から平成27年11月9日まで）における、議長又は議会に対しての情報提供については、上記の議会での質問、答弁でのやりとり以外には資料等が残されておらず、現時点では確認することができなかった。